

進路だより

発行：平成25年9月6日

1 グローバル人材とは

平成25年7月10日(水)の読売新聞朝刊の記事です。「グローバル人材」に必要なのは、語学力だけではないはずだ。異なる文化を持つ人たちと理解し合い、自分の考えを伝えられることこそ重要だろう。民間の調査に高校生の半数が「グローバル人材にはなれない」と答えたというが、あきらめが早すぎる。「発音が悪くても何のその。コミュニケーションをとろうとするのが大事」。

2 東京大学の推薦入試について(東京大学のホームページより) 推薦入試の基本的な枠組み

(1) 募集人員 100名程度(内訳は科類ごとに設定予定)

(2) 出願資格・時期

① 出願資格

高等学校等を卒業若しくは卒業見込みであり、特定の学問分野に対する強い関心、これを本学で学ぶ積極的な意欲を持ち、学校長が責任をもって推薦できる者(各学校長が推薦できる人数は、1～2名の予定)

② 出願時期

入学前年の11月1日以降に入学願書を受け付け

(3) 選抜方法

本学の教育課程を履修するために必要な基礎学力を備えていることを前提に、志望分野への適性を重視しつつ、高等学校段階の学習成果や卓越した能力を積極的に評価

① 出願書類、面接等の審査結果及び大学入試センター試験の成績によって総合的に評価し、合格者を決定

② 志願者数が募集人員を大幅に上回る場合には、出願書類により第1段階選抜を実施

(4) 入学後の対応

志望分野に対する関心や学ぶ意欲に応えるよう、入学後の履修方法や学部・学科等の進路選択に配慮

(5) 導入時期

平成28年度入試から導入予定(4学年(2回生)から該当します。)

3 東京大学の 推薦入試について

平成 25 年 7 月 11 日
(木) の読売新聞朝刊の
記事です。東京大学の推
薦入試に関連した記事に
なっています。

東京大学ではアドミッ
ション・ポリシーで、「期
待する学生像」として、
「世界的視野をもった市
民的エリート」の育成と
いう「教育理念に共鳴し、
強い意欲を持って学ぼう
とする志の高い皆さんを、
日本のみならず世界の各
地から積極的に受け入れ
たい」という考え方を示
しています。

また、「入学試験の得点
だけを意識した、視野の
狭い受験勉強のみに意を
注ぐ人よりも、学校の授
業の内外で、自らの興
味・関心を生かして幅広
く学び、その過程で見出
されるに違いない諸問題
を関連づける広い視野、
あるいは自らの問題意識
を掘り下げて追究するた
めの深い洞察力を真剣に
獲得しようとする人」を
歓迎する方針を掲げてい
ます。